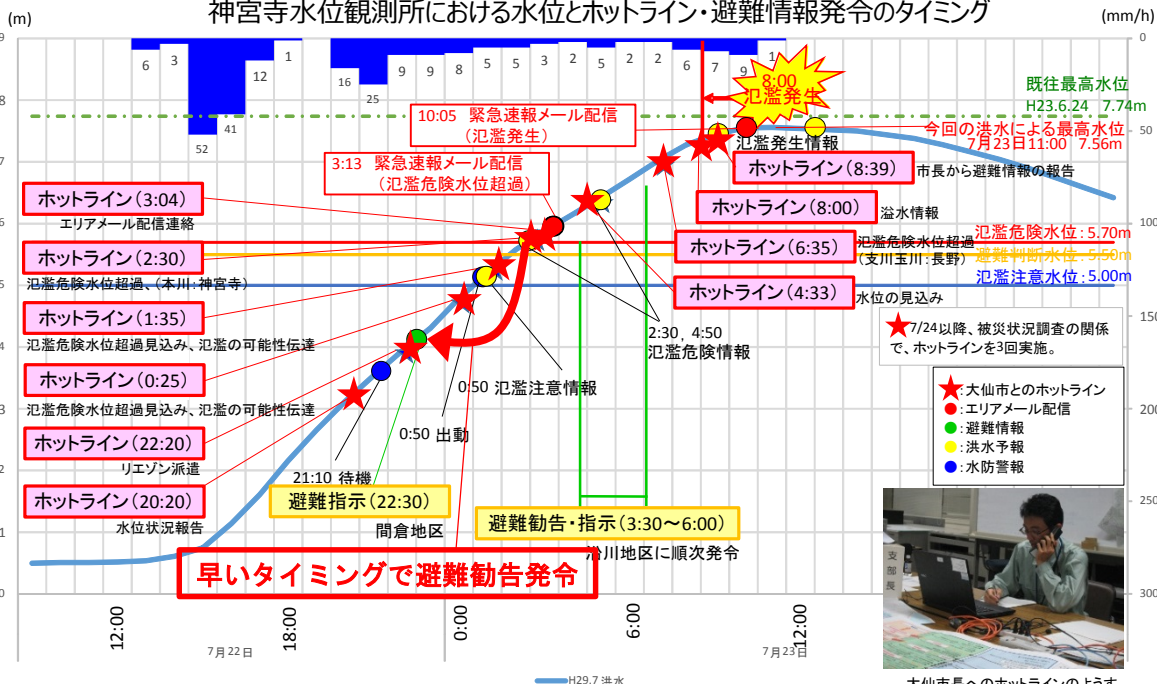
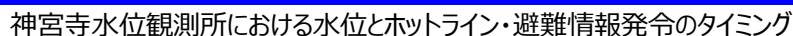


住民の避難を促すソフト対策（ホットラインの実施状況と効果）

- 雄物川（国管理区間）では、河川事務所と自治体で作成していた水害対応タイムラインを活用し、河川事務所長等と市長等のホットラインを3市に延べ21回（※）実施。（※7月22日から24日までに、被害の生じた雄物川水系で事務所長等と市長等との間で実施したもの）
- タイムラインを踏まえた緊密なホットラインにより、湯沢河川国道事務所長から大仙市長に河川の状況等を詳しく伝え、それを受けた市長は、対象地域へ早いタイミングで避難指示を発令し、住民への避難の呼びかけを実施。合わせて国土交通省は、緊急速報メールにより河川情報を住民等に配信。

湯沢河川国道事務所から大仙市へのホットラインの例



太仙市長へのホットラインのようす

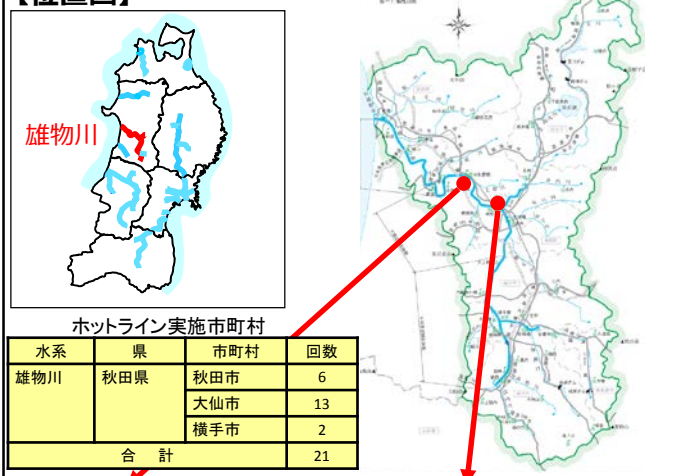
＜被害状況＞（外水）

浸水面積 約2,000ha
浸水家屋 約700戸

＜避難情報発令状況＞

避難勧告 8,051世帯 21,584人
避難指示 8,486世帯 22,799人

【位置図】



地区大卷寺

間食地区



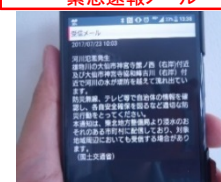
雄物川 左岸46.0km付近
溢水による住家浸水

雄物川 右岸60.2k付近
洪水による住宅浸水

大仙市長のコメント

・7月洪水では、事務所長からホットラインの
度重なる情報提供がなされ、それを踏まえ
て、適時の避難情報発令を行えた。

緊急速報メール

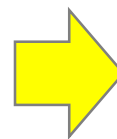


※被害状況、避難情報発令状況は雄物川全体数値であり、速報値であるため今後変わる可能性があります。

「避難確保計画の作成と避難訓練により、無事全員が避難」

～大仙市 特別養護老人ホーム「愛幸園」の取り組み～ 【秋田県大仙市】

- ・洪水に対する**避難確保計画**の見直し(平成28年10月)
※同年台風10号における**岩泉町の高齢者グループホームの教訓**を参考
- ・近年洪水及び現地状況から、**避難基準水位及び避難経路を独自に設定**
- ・避難確保計画に基づき、洪水に備え**避難訓練を実施**



平成29年7月洪水

迅速な避難

【避難路計画】

避難所周辺の道幅が狭く、スムーズなピストン移送を考慮し、往路と復路を事前に設定

【避難基準水位】

H23.6.24洪水の水位を基に、避難時間等過去の経験を踏まえた基準水位を設定
(神宮寺水位6.60m)
※H23.6.24洪水では神宮寺で観測史上最高水位7.74mを記録

避難所(平和中学校)

避難路

特別養護老人ホーム「愛幸園」

神宮寺水位観測所 ▲

雄物川

愛幸園の対応

7月22日夜

職員15人待機
水位・気象情報収集

23日 5:40

神宮寺水位
基準水位6.6m超過

職員全員を招集

23日 7:30

避難開始

23日 10:00頃

避難完了



H28.11.25 避難訓練の様子